

## 紺碧の 空にそびえてゆるぎなし

新年度がスタートして間もなく2か月となります。子供たちは仮設校舎での生活にも慣れたようで、毎日、校舎内外から元気な声が校長室にも響いてきます。

さて、校長室の窓から外を眺めると、ちょうど真ん中に、空に向かって真っすぐに伸びる校木「ヒマラヤスギ」が目にとまります。何本かあるヒマラヤスギの中で、幹回りが一番太く、背丈も高い木です。その巨木を毎日眺めながら、どこかで覚えた表題の言葉を思い返しています。教育の大きな変革期にあたり、また、学校の再編を控えた丸森小学校の抱える問題も決して少なくはありませんが、せめて気持ちだけは、このヒマラヤスギのように堂々とありたいものだと思っています。

この、ヒマラヤスギの根元を通して、毎日登校してくる子供たちも、この巨木のように大地にしっかりと根を張り、天に向かって力強く育ててほしいと思っています。先月以降、遅れて登校する子もめっきり少なくなりました。ご家庭の協力に感謝申し上げます。



### 丸森小学校閉校式

来年度からの小学校再編に向け、令和4年1月下旬より、町内8小学校の閉校式が順次行われます。その中で、丸森小学校の閉校式が**2月5日(土)午前**と決まりました。この日は、町主催の閉校式が行われるとともに、今後話し合われる実行委員会主催の記念式典が行われるものと思われまます。正式に決定したら改めてお知らせしますが、この日は児童の登校日とし、翌週の月曜日(7日)を振替休業日といたします。

### 行事等の変更について

4.5月は感染症の影響により、たびたび行事等の変更を行い、ご迷惑をおかけしました。今後も同様のことが予想されますが、町のガイドラインに従いながら、メール配信や学校ホームページを通して、できるだけ速やかにお伝えします。ご理解とご協力をお願いいたします。

#### 学校ホームページ

[http://www.town.marumori.niyagi.jp/school/maru\\_sho/](http://www.town.marumori.niyagi.jp/school/maru_sho/)

### 児童用タブレットが届きました

丸森小学校にも児童一人に1台のタブレット端末が届きました。今後準備が整い次第、授業で活用していきます。ただ、家庭に持ち帰ることも想定した今後の活用方法については十分に吟味する必要を感じています。今後、PTAの話合いなどでも話題にさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。



児童用タブレット

---

## 「ルルブル」…ご存知ですか？

---

ご存知の方も多いと思いますが、少し解説をしておきます。「ルルブル」とは「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル」という、子供の健やかな成長に必要なかつ重要な要素と、元気に育つように願いを込めた言葉から取ったものです。家庭だけでなく、学校・地域・企業・民間団体などがお互いに協力して取り組んでいくために、平成21年に県が中心となって「みやぎっ子ルルブル推進会議」設立しました。それ以来の合言葉であり、運動の一つです。

### まずは「食ベル」

私は、今年度入学式の式辞の中で、新入生の子供たちに向けて「ご飯をしっかり食べましょう」ということを、一番最初に話しました。さらに、5月の朝会の際にも、全校生徒に向けて「給食をできるだけ残さないようにしましょう」と話しました。それだけ「食べる」ことは重要だと考えています。私たちも大人も同じですが、毎日三食しっかりとした食事をしなければ、活動するエネルギーを得られないばかりでなく、その元になる健康な体を維持できません。ましてや、子供たちは、これからの一生の基盤となる丈夫な体の形成期にあります。

「食育」の大切さが叫ばれています。学校でももちろん指導しますが、子供たちにしっかり食べさせ、元気の源を培うのはやはり家庭です。子供たちに、バランスのよい食事を、しっかり食べさせて登校させてください。

### つぎに「遊ブ」

ここで言う「遊ぶ」は、「ゲームで遊ぶ」でないことだけは確かです。現在の社会は、子供たちが地域で集まり、元気に外で遊ぶ姿がなかなか見られなくなりました。かつては小さな田舎の集落でさえ、子供たちが群れ集まり、遊びを通して社会性を培ったり、体力をも形成していたりしたものです。その機会が減っていることはとても残念なことです。

私は、丸森小学校に赴任してきたの最初の会議で、職員に向け「仮設校舎という限られた環境下、狭い校庭ではありますが、子供たちには目一杯体を動かさせてください」というお願いをしました。現在は、リレーカーニバルに向けて毎朝自主練習に取り組む児童が見られますし、休み時間にクラス単位でマラソンに取り組む姿も見られます。先の環境が、地域で十分に整わないとすれば、学校としてせめてできることに取り組んでいきます。

毎日「よく食べて」「元気に体を動かして」いれば、残りの『寝ル』『伸びル』は自然についてくるものと確信しています。

学校では、子供たちが毎日元気に「学ぶ」活動に取り組んでいます。その「学ぶ」土台を培うのはやはり家庭においてであると考えます。子供たちを健やかに「伸ばして」いくために、一緒に「ルルブル」に取り組んで参りましょう。

